

令和8年度 活動の目的及び事業計画

◎ 活動の目的

会員相互の緊密な連携のもとに、学校事務の研究、会員の資質向上、学校教育の円滑な運営に寄与できる事務職員の育成と会員間の情報共有をはかることを目的とします。

◎ 事業計画

多様な業務を抱える会員の事務支援を活動の軸としながら、会員が活用・参加「したくなる」活動を目指します。また、市町組織、共同学校事務室、県事研を始めとする他の研究会等との連携を図りながら、学校事務職員が共同学校事務室を活用して学校の業務改善や教育環境の充実などの取組を進められるように支援します。私たち学校事務職員が、総務・財務等の専門性を活かして「チーム学校の推進」の一翼を担い、積極的に学校運営に参画し、子どもたちの豊かな教育を支援できるよう、以下の三つを重点として研究会事業を推進します。

1 活動の重点

(1) 学校事務の機能を組織力で高めるための取組

- ・共同学校事務室を支援するための情報の発信や共有を図ります。
- ・共同学校事務室が抱える具体的課題解決に直結する研究を進めます。
- ・共同学校事務室の運営を担うことができる人材の育成を図ります。

(2) 「チーム時代の学校事務職員の構想図」で掲げた学校事務をつかさどる学校事務職員の育成

- ・構想図で示した「学校運営に参画する5つの手段」について、会員や共同学校事務室で取り組めるような研究を進めていきます。
- ・会員の多様な働き方に対応できる事務支援や研修機会の提供を進めます。
- ・研究会活動を通して、人材育成を図ります。

(3) 情報の共有と市町・関係機関との連携

- ・理事会を通して市町組織及び共同学校事務室との連携や情報の共有を図ります。
- ・会員、市町、県事研等とのコーディネート役を担い、情報の共有、事務支援、連絡調整等を行います。
- ・西三河教育事務所との連絡調整を行い、職務や研修体制の課題解決に向けて働きかけます。

2 役員会及び事業部会の活動

(1) 役員会

西三事研の目的を実現するため、各事業部会と協力、連携しながら最小限の活動で最大の効果を生み出せるよう事業計画を進めるとともに、市町組織、共同学校事務室、県事研、西三河教育事務所などの関係諸機関と連携し、情報共有や連絡調整を行い、継続した協力体制を構築します。また、愛知県公立小中学校学校事務研究大会における支部発表を役員会が中心となり行います。

- ・総会、理事会の企画・運営
- ・学校事務研究会の企画・運営
- ・事業部への支援
- ・市町組織、共同学校事務室、県事研、西三河教育事務所など関係機関との連絡調整
- ・愛知県公立小中学校学校事務研究大会支部発表

(2) 研究研修部

「『チーム時代の学校事務職員の構想図』で掲げた学校事務をつかさどる学校事務職員の育成」を研究・研修の柱とします。そして、総務・財務の専門家として、意欲的・主体的に学校運営に参画し、学校事務をつかさどる「西三」の学校事務職員と共同学校事務室を目指すための研究を進めます。また、その実現に向けて研究成果を提供するとともに、会員の資質向上や人材育成を目指した研修会を行います。

- ・「西三」の学校事務職員を目指す人材育成のための研究
- ・研究活動の効果的な情報発信の研究
- ・夏季研修会の実施
- ・来年度の夏季研修会の企画

(3) 事務支援部

各市町の手引きの収集や西三事研作成の手引き等の改訂を通して、日常的な学校事務の支援を図ります。市町の共同学校事務室や研究活動に関する情報を収集するだけでなく、会員相互間等での具体的な課題を共有し、その課題解決のための情報提供を行います。また、チーム時代の学校事務職員として意欲的・主体的に学校運営に参画し、事務部門の組織力を向上するための学校事務に関する支援策を検討します。さらに、昨今のデジタル技術の進展を鑑み、生成AIを活用した情報の構造化や、新たな形の手引き作成など、事務支援の高度化・効率化に向けた研究・試行に取り組みます。あわせて、研修機会の公平性と利便性を高めるため、研修のオンライン開催や映像配信を継続して検討します。

- ・ホームページ「西三 J - n e t」の企画・管理、事務支援ツールの検討
- ・各種事務手引きの収集・作成・改訂、および生成AIを活用した情報共有手法の研究
- ・会報「西三河会報」の発行、メールマガジン「西三 J - n e w s」による情報発信
- ・各市町の共同学校事務室に関する情報提供・支援策の検討
- ・研修会等のハイブリッド開催（対面・オンライン）およびアーカイブ配信の検討・試行